

施策番号	0601		
施策名	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり		
概要	京都の先人たちの文化を受け継ぎ、幅広い市民が多彩な文化芸術に気軽に親しめる環境をつくとともに、文化芸術に関する子どもたちの教育や文化芸術による地域のまちづくりを進める。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	
上位政策	6 文化		
施策に係る主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数(団体)	b	a	325	342	345	99.1%	b	1.00
2	京都市後援名義使用許可数(件)	e	c	354	396	387	102.3%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		d	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	59	180	184	69	39	531	c
		11.1%	33.9%	34.7%	13.0%	7.3%		
2	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	79	228	178	38	21	544	b
		14.5%	41.9%	32.7%	7.0%	3.9%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 当該施策は、市民が文化芸術の支え手として誇りをもつことをめざしているため、市民の実感を重視する。								
(原因分析) ・文化振興等を行う市内NPO法人数については、全国的に登録者数が増加傾向にあることから、昨年度から数値が増加したが、目標値にわずかに届かなかったため、b評価となった。 ・京都市後援名義使用許可件数は目標値を上回り、a評価となった。許可件数の増加の要因は不明であるが、国民文化祭以降、文化芸術活動の機運が一定盛り上がる傾向にあったことが影響しているのではないかと考えられる。 ・市民の実感については、文化芸術の市民生活への普及(設問1)以上に、まちづくり、学術、産業等との結びつきのイメージ(設問2)が先行していることがうかがえる。							23 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	国家戦略としての京都創生の推進	65,748	68,522	良い	総合企画局
2	文化ボランティア事業	5,371	6,198	良い	文化市民局
3	京都文化祭典	52,061	34,042	かなり良い	文化市民局
4	京都文化芸術都市創生条例の推進	14,554	11,544	良い	文化市民局
5	子どもが文化芸術に親しむための取組	12,089	4,975	良い	文化市民局
6	京都市キャンパス文化パートナーズ制度	1,927	2,443	良い	文化市民局
7	無鄰菴	12,321	12,706	普通	文化市民局
8	映画都市・京都の推進	640	—	—	文化市民局
9	京都国際現代芸術祭の開催準備	—	35,943	—	文化市民局
10	京都映像フォーラム	—	3,000	—	文化市民局
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、後援名義使用許可や文化芸術についての情報提供を行うことで、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術が子どもたちや学生、地域のくらしにも浸透し、発展するよう、「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」や学生の文化芸術に対する理解を深め、京都の多彩な文化芸術に親しむ機会を提供する「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」などの取組を進めていきます。

施策名	0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり					
指標名	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NP0法人数（団体）						
担当課	文化芸術企画課		連絡先		3 6 6 - 0 0 3 3		
1 指標の説明							
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内に所在するNP0法人の認証数（各年度3月31日現在）							
2 指標の意味							
地域の暮らしのなかに文化芸術が息づいていることを示す指標							
3 算出方法・出典等							
算出方法：今年度の登録者数－前年度の登録者数 出典：内閣府NPOポータルサイト ※平成22年度までは京都府NPO協働ポータルサイト							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	325	342	17団体増	345	前年度（23年度）数値より20団体以上増加	99.1%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値							
5 評価基準							
最新の数値が a：前年より20団体以上増加 b：前年の10団体以上、20団体未満増加 c：前年の0団体以上、10団体未満の増加 d：前年の0団体以上、10団体未満の減少 e：前年の10団体以上減少							
6 基準説明							
法人数の増加が望ましいため、単年度目標値に対する増減で基準を設定した。 23年度：325団体 22年度：261団体 21年度：242団体 20年度：219団体 19年度：200団体							
7 評価結果							
23 24 25							
b a b							

指標名	京都市後援名義使用許可数（件）					
担当課	文化芸術企画課		連絡先		3 6 6 - 0 0 3 3	
1 指標の説明						
文化芸術に関する事業についての、京都市後援名義の使用許可件数						
2 指標の意味						
文化芸術に関する市民の自主的な活動を支援していることを示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	354	396	42件増	387	過去5年間（平成19～23年度）の最高値（平成20年度）	102.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：上中間と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下						
6 基準説明						
使用許可数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：387（平成20年度） 平均値：357 最低値：300（平成22年度）						
7 評価結果						
23 24 25						
e c a						